



戦国乱世を駆け抜けた4人の城

～細川藤孝・忠興・ガラシャ・明智光秀～

Shoryuji Castle-Home to Hosokawa Fujitaka, Tadaoki, Gracia and Akechi Mitsuhide in the Waring States period



Moshi-Mosu

もっと知れば、
もっと好きになる！
長岡京市の歴史・文化財

II

VOL.03
2019
AUTUMN

勝竜寺城公園 11.2 リニューアルオープン！

かして暮らしっく
長岡京



室町幕府將軍足利義輝・義昭、織田信長、豊臣秀吉に仕えた、肥後細川家の祖。將軍側近として上洛するが、次第に信長に接近し、その後家臣となる。信長の命令により、勝龍寺城を当時最先端の城郭に改修。和歌・連歌に通じ、古今伝授の伝承者として著名。禁裏を頂点とする公家の学問の中心として、その儀礼を整備。当代屈指の文化人で武家故実・茶道・包丁などにも造詣が深い。

細川藤孝

天文3年(1534)～
慶長15年(1610)

細川忠興

永禄6年(1563)～
正保2年(1645)

織田信長・信忠、豊臣秀吉、徳川家康に仕え、肥後細川家の基礎を築く。それぞれの天下人の下で数多くの武功を挙げ、それは父藤孝を越えた。信長の意向により、明智光秀の娘玉(ガラシャ)と勝龍寺城で結婚。いつしか当代一の美男美女の組み合わせといわれた。父同様文化的な教養に優れ、和歌・連歌・能・鷹狩などを好む。特に茶の湯は、利休七哲の一人として知られた。

朝倉義景を頼り越前にいた時、足利義昭や細川藤孝と出会ったといわれる。義昭・織田信長に両属。その後信長の武将として活躍した。畿内平定や丹波攻略で大きな成果を挙げる。毛利攻めの羽柴秀吉を救援するため出陣したが、入洛、本能寺で主君信長を襲う。その直後に山崎・勝龍寺城合戦で秀吉に敗れ、一時勝龍寺城に籠るも落ち延び、その途上で落命。「三日天下」といわれる。



明智光秀

生年不詳～
天正10年(1582)

玉(ガラシャ)

永禄6年(1563)～
慶長5年(1600)

信長の意向により、藤孝の嫡子忠興と結婚し、勝龍寺城で新婚時代を過ごす。父光秀の本能寺の変によって、丹後味土野に幽閉されたが、羽柴秀吉のとりなしもあって大坂玉造の屋敷に移る。夫忠興からキリシタン大名の話を聞き、その後洗礼を受ける。関ヶ原の戦いに先立って、石田三成方西軍に屋敷を囲まれたが、人質になることを拒み、家臣の介錯で最期を遂げる。



京都防衛の要 勝龍寺城

京都盆地の南西部に位置し、西国街道と久我畷の陸上交通を抑え、淀川水系にも程近い交通の要衝に立地します。応仁・文明の乱ごろから、戦略上の要地としてしばしば戦場となり、次第に恒常的な城郭が整備されました。

近世城郭の原点

瓦・石垣・天守 当時最先端の勝龍寺城

元亀2年(1571)、細川藤孝は織田信長の意向を受けて、勝龍寺城を大きく造り替えました。昭和63年(1988)、公園整備に先立つ発掘調査によってその後の城郭の標準となる諸要素を備えた先駆的な城郭であったことがわかっています。



梅林秀行さん(1973年愛知県名古屋市生まれ。京都高低差崖会崖長。NHKのテレビ番組「プラタモリ」御土居編、奈良編、嵐山編、伏見編などに出演。趣味は高低差探し、看板ウォッチャー、銭湯、商店街巡回。長岡京市主催のまち歩きイベントの講師も。)

梅ちゃんのプラタモリ的解説!

勝龍寺城周辺は近世城下町というよりも中世の様相が強い。織豊政権(織田信長・豊臣秀吉の時代)が本格化すると、もともとあった地域の拠点であるお寺をつぶしてその上に城をつくるんですね。でも、藤孝は瓦葺き・石垣・礎石・枅形虎口のシンボリックな城をお寺のすぐ隣につくった。藤孝の勝龍寺城は、近世を作り上げた織豊政権にとっての実験場のような側面があります。藤孝目線と言うと、そうとう苦労してますね。



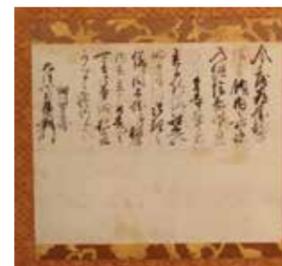
NEW SPOT!

藤孝・忠興やガラシャ光秀も見た景色なんだなって思うとちょっと感動しました!

光秀天王山合戦テラス

勝龍寺城の西側の土塁にテラスがあります。テラスからは、天王山がはっきり見えます。天王山から勝龍寺城の間の一帯で、光秀最後の戦いとなった山崎・勝龍寺城合戦が行われました。このテラスは城内で最も高い場所。京都高低差崖会の梅林秀行さんも、「天王山と男山の間、摂津方面からやってきた人がまず目にするこの場所、おそらく天守があるとすればここにあったと思いますね。」と解説されています。

信長・藤孝と勝龍寺城 肥後細川家の原点、『長岡』を名乗る



年未詳9月4日付細川藤孝書状(長岡京市教育委員会蔵)

永禄11年(1568)細川藤孝は、足利義昭を奉じた織田信長の上洛戦に従軍し、程なく勝龍寺城に入りました。元亀4年(1573)には信長から桂川の西側一帯・西岡を与えられ、藤孝は「長岡」姓を名乗り、天正8年(1580)丹後に移封されるまで統治しました。9月4日付細川藤孝書状では、『信長から勝龍寺城米を「諸入組」地に賦課するよう命令があったが、貴寺(東寺)は特別な寺院で、明智光秀・里村紹巴の要請もあったため、上桂・朝原にある貴寺領地については免除する、これまで通り収納してよい』と記されています。藤孝の管轄地であった西岡地域に「諸入組」地があったこと、それにもかかわらず信長が一円に臨時課役を賦課したこと、しかし在地支配のなかで、各領主の個別交渉によって無効となる場合があったこと、藤孝・光秀・紹巴といった個人的な関係がその採否を左右したことがわかる、興味深い内容となっています。

参加しよう！

Event イベント情報。

勝龍寺城の魅力に迫る！

歴史講演会 「勝龍寺城！ココがすごい」



撮影：畠中和久

日本の城郭建築研究の重鎮。
特に織豊期の城の学会トッ
プクラスの知識を誇る。

- 日時 令和元年11月2日(土) 10時30分～12時
※開場は10時を予定
- 場所 長岡京市中央生涯学習センターメインホール
(JR京都線長岡京駅前・バンビオ1番館3階)
- 講師 千田 嘉博さん(奈良大学教授)
- 主催 長岡京ガラシャ祭実行委員会
- 共催 長岡京市・長岡京市教育委員会
- 問い合わせ 長岡京ガラシャ祭実行委員会事務局(長岡京市自治振興室内)
☎075-959-1299

※要約筆記・手話通訳をご希望の場合は、10月23日(水)までに事務局へ。

申込不要
先着 300名
入場無料

来年の大河ドラマは光秀主役の『麒麟がくる』

大河ドラマ開幕記念歴史講演会 「大河ドラマ開幕 ～明智光秀・細川藤孝と長岡京市～」



大河ドラマ「西郷どん」の時
代考証やメディアでも多数
ご活躍中です！

- 日時 令和元年12月8日(日) 14時～15時30分
※開場は13時30分を予定
- 場所 長岡京市中央生涯学習センターメインホール
(JR京都線長岡京駅前・バンビオ1番館3階)
- 講師 磯田 道史さん(国際日本文化研究センター准教授)
- 主催 長岡京市・長岡京市教育委員会
- 問い合わせ 長岡京市教育委員会生涯学習課 ☎075-954-3557

事前申込制
定員 300名
入場無料

【申込み方法】往復はがきでのみ受け付けます。

往復はがきに氏名、住所、電話番号、参加希望人数(1枚で3人まで)を記載の上、下記まで送付してください。

*参加希望者が複数の場合、参加希望者全員の氏名をご記入ください。

*要約筆記、手話通訳、託児(生後6か月～就学前の児童)のサポートが必要な方は、はがきにその旨を明記してください。

*申込先：〒617-0824 長岡京市天神四丁目1番1号 長岡京市立図書館3階 生涯学習課

*締切り：令和元年11月15日(金) 必着

長岡京市魅力発信サイト

「SENSE-NAGAOKAKYŌ」では、京都高低差崖会の梅林秀行さんのまち歩きや周辺のグルメ情報などもアップ中。ぜひご覧ください！



『Moshi-mosu(もしもす)II』は、長岡京市教育委員会が発行する歴史・文化財情報紙です。「もしもす」とは、「もっと知れば、もっと好きになる」の意味です。これまでのバックナンバーは、市のホームページでご覧いただけます。



『Moshi-mosu II』 vol.2

発行：長岡京市教育委員会生涯学習課 京都府長岡京市天神4丁目1番1号/令和元(2019)年11月